

2022/11/21（月）

朝の礼拝

聖書 コリントの信徒への手紙 I 3章 10-11節（新約聖書302頁）

わたしは、神からいただいた恵みによって、熟練した建築家のように土台を据えました。そして、他の人がその上に家を建てています。ただ、おのおの、どのように建てるかに注意すべきです。イエス・キリストという既に据えられている土台を無視して、だれもほかの土台を据えることはできません。

土台

パウロは地中海沿岸を伝道して各地に教会の礎を築きました。そしてイエスを救い主と信じる人々を「神の建物」とたとえ、どんなに歴史を刻んでも、イエス・キリストという土台は変わらないと言っています。

当時の建物は木材ではなく、レンガや石によって建てられていました。壁や柱など木材と比べるとかなりの重さがあります。地盤の弱いところ、砂地などでは建物が傾いてしまいます。砂嵐や風雨に耐え、家全体を支えてくれる固い岩の土台が必要でした。

イエスは自らを「隅の親石」だと言いました。隅にあって上から左右から重さがかかっても家全体を支えるように、あなた方を支え続けると言っています。そしてわたしの教えを聞いて行う人は、岩の上に家を建てた人とも言っています。

今週26日、静岡英和女学院は創立135周年を迎えます。イエスは目に見えない土台としてわたしたちを支え続けています。だからわたしたちは日々聖書の言葉に心を傾け、互いに励まし、共に学び続け、私たち自身も土台となる道へ導かれているのです。

(しばらく黙想しましょう)

わたしたちを支えて下さる主よ、わたしたちはあなたからの賜物によってまことの知恵を得ることができます。どうかあなたの名によって建てられた静岡英和女学院を恵み、教える者と学ぶ者を祝福してともに知識を深め、主の真理を悟り、謙遜な心をもってあなたを仰ぐことができますように。冬が近づき感染症のリスクが高まっています。どうか小テスト、単元テスト、定期試験、また入学試験を受ける英和生の健康をお守りください。そして喜びと感謝のうちにクリスマスのシーズンを迎えることができますように。今日一日もすべてをあなたに委ね、よき学びのうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン